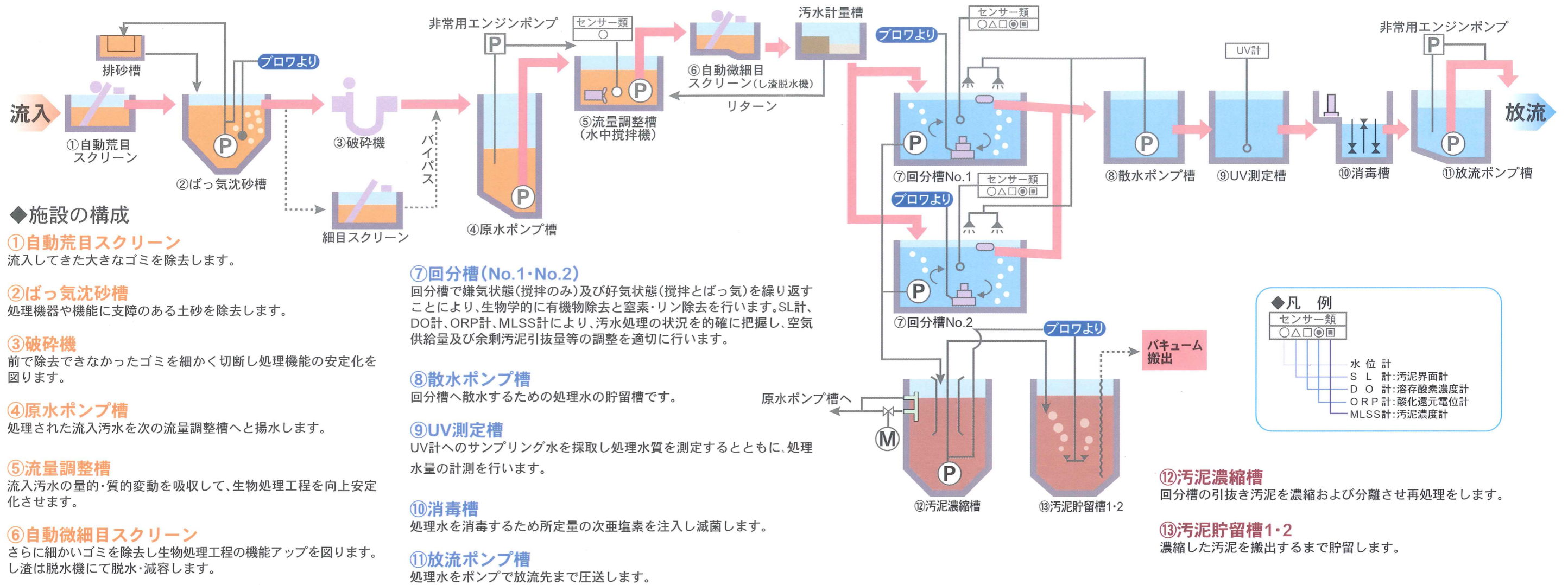


# 処理のしくみ



## ◆施設の構成

### ①自動荒目スクリーン

流入してきた大きなゴミを除去します。

### ②ばっ気沈砂槽

処理機器や機能に支障のある土砂を除去します。

### ③破砕機

前で除去できなかったゴミを細かく切断し処理機能の安定化を図ります。

### ④原水ポンプ槽

処理された流入汚水を次の流量調整槽へと揚水します。

### ⑤流量調整槽

流入汚水の量的・質的変動を吸収して、生物処理工程を向上安定化させます。

### ⑥自動微細目スクリーン

さらに細かいゴミを除去し生物処理工程の機能アップを図ります。し渣は脱水機にて脱水・減容します。

### ⑦回分槽 (No.1・No.2)

回分槽で嫌気状態(攪拌のみ)及び好気状態(攪拌とばっ気)を繰り返すことにより、生物学的に有機物除去と窒素・リン除去を行います。SL計、DO計、ORP計、MLSS計により、汚水処理の状況を的確に把握し、空気供給量及び余剰汚泥引抜量等の調整を適切に行います。

### ⑧散水ポンプ槽

回分槽へ散水するための処理水の貯留槽です。

### ⑨UV測定槽

UV計へのサンプリング水を採取し処理水質を測定するとともに、処理水量の計測を行います。

### ⑩消毒槽

処理水を消毒するため所定量の次亜塩素を注入し滅菌します。

### ⑪放流ポンプ槽

処理水をポンプで放流先まで圧送します。

## ◆凡例

センサー類

○△□◎

水位計

S L 計:汚泥界面計

D O 計:溶存酸素濃度計

O R P 計:酸化還元電位計

M L S S 計:汚泥濃度計

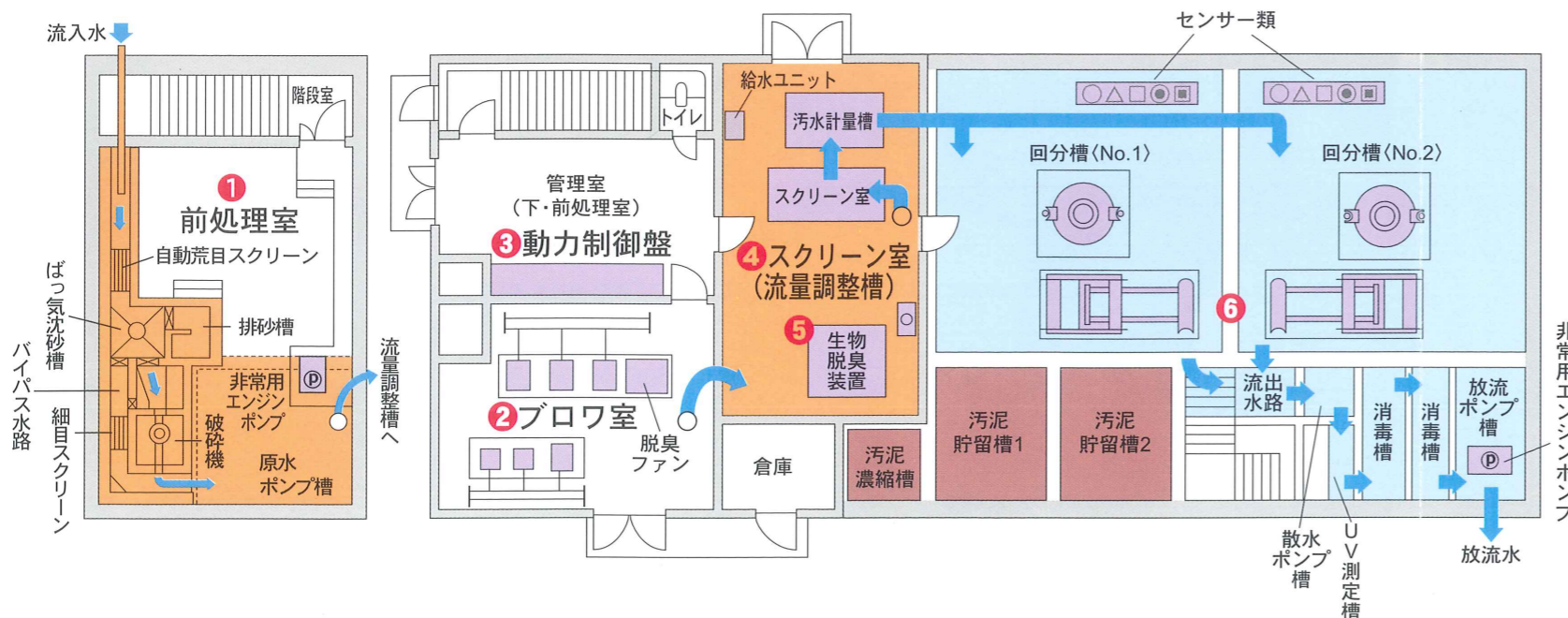
### ⑫汚泥濃縮槽

回分槽の引抜き汚泥を濃縮および分離させ再処理をします。

### ⑬汚泥貯留槽1・2

濃縮した汚泥を搬出するまで貯留します。

# 処理施設の配置図



①前処理室



②ブロフ室



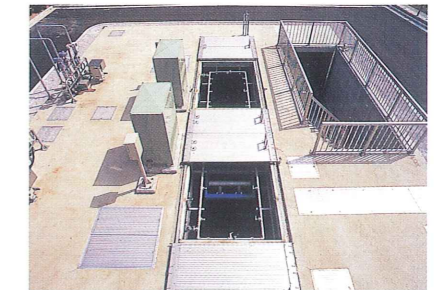
③動力制御盤・計装盤



④スクリーン室



⑤生物脱臭装置



⑥回分槽 (上澄水排出装置)